



## 米国パビリオンの展示

米国パビリオンの外観は、世界的な名声と受賞歴を誇る、トレイハン・アーキテクト社によってデザインされ、ESグローバル社とアルケミー社が施工を手掛けました。存在感のある外観は、三角形の木造建物2棟が並び、その上にはライトアップされたキューブが浮かぶように設計されています。建物の壁面に備えられた2面の巨大なLEDスクリーンには、米国の名所の数々が映し出され、息を呑むような美しいディスプレイを演出します。この外観は、まるで2棟の建物が人々を迎え入れるべく両腕を広げているかのような作りになっており、来場者を中へと歓迎する意図でデザインされています。木造の地面はわずかにカーブがかかっており、パビリオンへと入場していく際に渡る橋をイメージしています。

米国パビリオンのキューブは夜には柔らかな光を放ち、LEDスクリーンは来場者の足を止め、映像に見入ったり、音楽に聞き入ったり、味わったり中を見て周ったりしたくなるような仕掛けになっています。キューブの下を抜けると、その先には吹き抜けが美しい中庭が広がり、活気に溢れたパフォーマンスステージが登場します。ステージでのミュージカルや文化パフォーマンス、またレストランでの食事を楽しんだあとは、米国原産の植物や芝が植えられたアメリカ式庭園を散策することができます。

米国パビリオンを上空から俯瞰すると、2棟の三角形の建物がわずかな隙間を挟んでほとんど触れ合うように並んでいます。その間には大きくもシンプルで優雅なキューブが備えられ、来場者が思わず中には何があるんだろうと好奇心をそそられるような作りになっています。こうしたしっかりとした幾何学的なフォルムは、ゆったりとした流線的な庭園との対比を演出します。

また米国パビリオンでは、美しく洗練されたプライベートのミーティングルームやイベントスペースも予約制でご利用可能となっており、イベント運営やケータリングのサービスのオプションもご提供しています。パビリオン内のプライベートスペースには、ひとつひとつキュレーションされたアメリカのアーティストたちの芸術作品が展示されています。

約3500平方メートルの敷地内に2階建てを有する米国パビリオンの外観は、およそ3000平方メートルの広さを誇ります。パビリオンは「エンパワーリングゾーン」内に位置し、Osaka Metro 中央線の夢洲駅に隣接する東ゲートから最も近くなっています。



## つながり

つながりの展示のテーマは「共に学べることを想像しよう」です。さまざまな体験談を通して、世界中の人々が米国でつながる学術的、プロフェッショナル、または文化的な交流プログラムをご紹介します。経験者たちが語る、いかに米国での学びや仕事や研究が新たな扉を開き、新しいアイデアを生み、長年のつながりを作ったか、そしてそれがいかに彼らの人生を形作ったか、というストーリーをお楽しみください。

## イノベーション

イノベーションの展示のテーマは「共に創出できることを想像しよう」です。スパークとユースアンバサダーによる案内で、未来をつくる先進的な進歩の数々を体験していただけます。環境に適応した食料システムや最先端の素材、生活を向上させる医療技術など、米国がいかにして世界が抱える問題に対して革新的なソリューションを生み続けているかをご覧ください。この展示では、米国の創造性やコラボレーション、そして応用科学が進歩と可能性を切り開き続けている様子をご紹介します。

## 旅

旅の展示のテーマは「共に経験し、目にできるものを想像しよう」です。没入型のスペースには、全米各地で見つけられる美しさやバラエティ、そして探検心が演出されています。象徴的な国立公園から魅力溢れる小さな町や大都会、音楽フェスティバル、テーマパーク、そして各地の料理まで、この展示ではアメリカの風景を探索するたくさんの方の方法をご紹介します。視覚や空間演出を通して、アメリカの大自然や文化的な見どころを感じていただけます。全米50州とワシントン特別区、そしてその他の米国領土が網羅され、「美しき米国」を彩るさまざまな土地やストーリーや伝統を垣間見ることができます。

## 宇宙

宇宙の展示のテーマは「共に探査できるものを想像しよう」です。本物の人工物や試作品の他、希少な月の石まで、この展示ではアメリカの宇宙探査の物語を体験していただけます。初期の発見からアポロ計画や今日のアルテミス計画まで、宇宙における米国のリーダーシップや国際協力によって達成した数々の重要な節目となった出来事をご紹介します。また、月へ再び降り立ち、火星への有人探査の足がかりとするために、どのように宇宙飛行士やエンジニアやイノベーターたちが協力しているのかといった、未来の姿も垣間見ることができます。



## 打ち上げ:月へ、そしてその先へ

打ち上げの展示は米国パビリオンのシンボルともいえる、謎めいたキューブの内部で展開され、テーマは「共に到達できるものを想像しよう」です。パビリオンのキューブ内に設置されたこの展示では、没入型の視覚演出や音響、そしてシネマティックな照明によって、NASAによるロケット打ち上げの興奮を疑似体験することができます。

ケネディ宇宙センターに着想を得たこの展示では、発射に向けた準備を通して高まる期待を感じていただくことができます。スパークによる案内で、地球から月へと出発し、他の銀河系などあらゆる可能性の旅に出ます。ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡からのイメージによって、息を呑むような遥か彼方の世界が広がります。冒険心を詰め込んだこの展示で、壮大なアイデアは人々を想像のその先へ連れて行ってくれるということを実感していただけます。